

# 談呆国憂

2 VOLUME 33

## 今月の憂いゴト

シエール・ガスの開発から、  
アルジェリア人質事件、  
憲法改正と体罰問題、  
アベノミクス政策まで！

東京・銀座の『フェルメールセンター銀座』で  
開催中の「あっぱれ北斎！光の王国展」を、  
館長の福岡伸一さんの案内で鑑賞した田中・浅田両氏。  
北斎の描く危うい春画の話題で盛り上がりつつ、  
危うい世界情勢、さらに危うい日本経済を論じた。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui



浅田彰



田中康夫

## シェール・ガスの開発で、強いアメリカが復活?

浅田 今月はエネルギー特集ってことだけ

ど、いま世界でシェール・オイル&ガスの開発で盛り上がってる。あれは慎重に検討しなきゃいけないと思うね。地下深くのオイル・シェール(油母頁岩)の層に水平に何キロも横穴を掘り、化学薬品を混ぜた大量の水を注入してガスを抽出する、ハイドロリック・フラクチャリング(水圧破砕)——略してフラッキングって方法がシェール開発を可能にしたっていうんだけど、ものすごく乱暴な方法だから、採掘地の地層が破壊されたり、周辺の地下水が汚染されたり、それどころか地震さえ誘発するっていうから大変だよ。所有する農場の近くで開発計画が持ち上がったオノ・ヨーコ&ジョン・レノンをはじめ、大勢の文化人が反対運動を起こしてるんだけど、日本ではあんまり報道されてないんじゃない? マット・デイモンが出るガス・ヴァン・サン ト監督の『プロミスト・ランド(約束の地)』もこの問題がテーマで、だから公開前から業界が総攻撃に出てるようだし……。

田中 石油や石炭も地中から抜き出すという意味では同じだけど、地盤の陥没どころの話で終わらないシェール・ガスは破壊的なんだね。なんだか、永遠に経済は拡大すると信じるシカゴ学派的な匂いがある。シカゴ学派って、逆に言えば社会主義の計画経済みたいなもので、供給側の都合でしょ。消費側の希望じゃない。シェール・ガス開発もそういうアメリカ的な発想を象徴しているんじゃないかな。

浅田 バラク・オバマ米大統領は、1期目はグリーン・ニューディール政策で再生可

能エネルギーを推進しようとしたけど、それがなかなかうまくいかない一方、シェール開発が急速に進展したんで、2期目はそ

っちに軸足を移しちゃった。アメリカが再び石油・天然ガスの輸出国になり、アラブ世界への依存を減らせるわけだから、それで盛り上がるのも無理はないけれど、もっと慎重にやるべきじゃないかな。

オバマは1期目は超党派派でやろうとしたけど、共和党があまりにも頑固だから何も動かなかった。2期目のスタートでは、腹をくくったのか、かなり明確にリベラル路線を出してきてる。就任式では、エイブラハム・リンカーンとマーチン・ルーサー・キング牧師の聖書を使って宣誓をし、キューバ系のゲイの詩人に詩を朗読させた。つまり、人種差別の撤廃や移民の権利の拡大に力点を置く、と。性的マイノリティの権利に言及したのも初めてのことだしね。それはいいんだけど、そういう問題を強調するのは、共和党が下院を支配してるかぎり肝心の経済の本格的な改革はできそうもないからだ、とも言える。で、経済についてはもっぱらシェール・ガスが頼りとする、とちよつと危ない気がするな。

田中 アラスカの油田は使わないで後のために取っておこうという考えかな?

浅田 たしかに海底油田は石油流出事故が起これたら大変なことになる。2010年にメキシコ湾で原油流出事故を起こしたイギリスのBP社とはまだもめてるわけだしね。シェール・ガスは、それよりは安全そうに見える。でも、汚染が急速に広がらないから注目されてないだけかもしれないん



だよ。

田中 アルジェリアの人質事件も一義的には、サハラ砂漠からサバンナへと移行するサヘルと呼ばれる境界地帯で天然ガス関連施設を運営するBPに責任があるのに、そ

っちへは論点が移っていかないのでもどかしいね。犠牲者が数十万人に達したフランスからの独立戦争を経験しているアルジェリアからすれば、またフランスに介入されるのはとんでもないと考えるでしょ。隣接するマリ北部は北アフリカの黒人のいざれとも異なる遊牧民ベルベル人系のトゥアレグ族が穏健な形での独立を求めて暮らしてきた。そこに新生リビアで食えなくなつたムアンマル・カダフィ大佐の傭兵だった連中が入り込んで、きな臭い雰囲気に変質しちゃった。それを叩くためにフランスはマリ南部に一種の傀儡政権を誕生させて軍事介入したけど膠着状態が続いている。だけど驚いたことに、軍事介入直後は世論調査でフランス社会党支持者ですら77%も賛成したとは考えられないほど不寛容な社会になってきてる、世界中が。

浅田 イスラム原理主義と戦うっていう大義名分を掲げればなんでも通っちゃうのかな。でも、マリの連中は田中さんの言ったようなオポチュニストなんですよ。根っからのイスラム原理主義じゃないと思

田中 旧・宗主国のフランスが前のめりな荷担する構図は、ヴェトナム戦争の泥沼化と似ているね。イラクもアフガニスタンも「白人国家」が軍事介入して成果を収めた

ためにはないのに。日揮も、リスクの高い地域だと認識してははずだよ。

浅田 そのぶん、社員は高額の危険手当をもらってる。だから殺されてもしかたがないとはもちろん言わないけど、インフォームド・コンセントに基づいて派遣されているのは確かだからね。それにしても、BPが警備をアルジェリア政府に任せてたのは不思議な気がするな。民間軍事会社に警備を頼むのが普通じゃない?

田中 2004年のイラク日本人質事件の時には、危険を承知でイラクに行つたんだから自業自得だと日本の世論は冷たかつたのに、今回は救出のために自衛隊を派遣しろって話になってる。でも、これは僕が以前から提唱している天変地異の際に世界各地へ派遣して救助・救援・復旧活動を行うサンダーボード隊とは似て非なる行為だからね。攻撃・応戦の戦闘行為に巻き込まれる蓋然性が極めて高いという覚悟が国民的コンセンサスになっていない中で猪突猛進はどうなのかな。

## 尖閣諸島の脅威から、子どもを守ろうとする女性。

浅田 日本に目を転じれば、尖閣諸島の沖合で中国海軍の艦艇が海上自衛隊の艦艇に火器管制レーダーを照射したりして、緊張は一向に収まる気配がない。前から言うように、領土問題は棚上げすることでやってきたのに、石原慎太郎が東京都で買うと言出し、先手を打って国が買わざるを得なくなつた。そこから急に問題が再燃したわけでしょう。もちろん中国のナショナルリズムを背景とした強硬姿勢は困つたものだけども、それを無闇に刺激するのも愚かだよ。レーダー照射だって現場の暴走に過ぎない

可能性も高いし、前にも同様の事件があったのを安倍政権がいまえて公表に踏み切った、そうやって火に油を注ぐのが賢明なのかどうか。

田中 メディアも野党も問題視しないけど、「事務方が慎重になって報告が遅れた」から、1月30日に照射された6日後の2月5日に防衛大臣と首相が初めて知ったんだなんて、これこそシベリアン・コントロールを無視した大問題でしょ。

元首相の鳩山由紀夫が中国を訪問して領土問題の存在を認めるべきだと言ったら袋叩き(苦笑)になったけど、領土問題は明らかにあるんだよ。だって、その庭はウチの敷地だと先方から言われているのに、所有権の問題は生じていませんと言ったら負けちゃうでしょ。歴史的にも国際法上も尖閣諸島は日本の領土であるのは明らか、と毅然として領有権を主張して、文句があるなら国際司法裁判所で決着を付けましょうと言るのが外交のイロハ。

他方で竹島は、2008年の自公政権時代にアメリカ連邦政府の地名委員会が韓国領土と記載した際に「日本政府として特別なアクションを起こす考えはない。首相が抗議を行う意思はない」と官房長官会見で述べているから厄介なんだよ(苦笑)。領土問題は存在しないから反論する必要もないという態度こそ、自分たちが小馬鹿にしている9条護憲派と同じなのね。

浅田 そう、現実の複雑なニュアンスを見ようとせず、白か黒かはつきりさせたがる単純な思考パターンの政治家が増えてるとしたら、大問題だね。

それは改憲への動きにもつながってる。自衛隊は軍隊なんだから、それを認める形に憲法9条を改正して、すっきりさせよう、

と。ちなみに、昨年の衆議院選挙の出口調査で、自民党に投票した20〜30代の男性の32・6%が憲法改正に賛成、同じ世代の女性では54・4%が賛成するのは、驚くべき数字だと思う。女性のほうが平和主義的だっという常識はもう通用しないんだ。この件でちょっといかがわしい説明があつて。社会に出て働いてると、自分の仕事が忙しくて、尖閣諸島のニュースなんかあんまり気にしてられない。景気をよくしてくれなきゃとりあえず自民党を支持するけれど、改憲まで行って内外でもめることはない、と。ところが、主婦が一日中家にいると、TVで尖閣諸島のニュースが映るたびに、中国が自分の家に攻めてきているような気がするんじゃないか、と(笑)。社会が欠落して、自分のまわりのことが世界情勢と直



田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に「なんとなく、クリスタル」で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を経て、現在、新党日本代表。

結しちゃう「セカイ系」ってやつだね。インターネットが発達して個人の意見がすぐ世界に発信できるようになったのはいいことだけれど、そこでも個人と世界とが一瞬にしてつながっちゃうような幻想が生まれるとしたら問題だと思う。本当はいろいろと矛盾をはらんだ関係が幾重にも重なって社会をつくってるわけだから。

田中 改憲すれば社会がバラ色になると思っているのは、小選挙区制になれば、道州制になれば、政治が良くなるという単純な制度他力本願。だけど、そおかあ、間屋や商店が省かれてしまうB to Cは生身の人間とのいろいろと難しいつき合いで成り立つ「社会」を消失させてしまうんだね。

大阪市立桜宮高校の男子生徒が体罰が原因で自殺した事件で、けしからんのは教育

### 領土問題は存在しないから 反論する必要もないという態度こそ、 自分たちが小馬鹿にしている 9条護憲派と同じなのね。(田中)



委員会、その教育委員会には市長も口出しできないと橋下徹が言っているけど、首長経験者の僕に言わせると嘘だね(苦笑)。プロマガ「あとは自分で考えなさい。」の連載「だから、言わんこっちゃない！」でも詳しく解説したけど、委員5人で構成される教育委員会の人事案は、首長が議会に提出するんだ。維新の会と公明党が与党で過半数を占める大阪市では否決されない。さらに教育委員会事務局は、教頭や校長になるためのキャリアパスで志願する教員もいるけど、大半は市役所の職員として採用された事務職が配属されて、教育長の人事権も首長が握っている。その仕組みを市長として1年、知事として4年の彼が知らないはずもないでしょ。教育委員会が機能していなかったとすれば、それは人事と予算を握る彼の職務怠慢って話。

しかも大阪市役所には彼の就任前から市長に報告が上がる公益通報制度があつて、桜宮高校の体罰を指摘する情報が寄せられていたんだからね。

浅田 橋下についてはそのとおりだけど、女子柔道オリンピック・チームの体罰問題も含め、スポーツ界にはびこる暴力体質がさすがに社会的に通用しなくなってきた、それはいいことだと思うよ。ちなみに、AKB48の峯岸みなみが「恋愛禁止ルール」(笑)に違反したってんで丸刈りになって謝罪する映像が話題になったけれど、秋元康はAKB48は高校野球だって言った、まさにそういう体育会系の悪い面が出た感じだし、社会的な反発を呼んだのも当然でしょう。AKB48にこそ社会を変えるヒントがあるとか言ってた宇野常寛だの濱野智史だのいう「若手論客(笑)」はどう考えてるのかな。実は橋下下つても明らかに体育

会系なんだけど、そういう社会的な意識の変化を敏感に読み取ってるのは確か。

田中 権限があるのに行使してこなかった自分の責任を巧みにすり替えてるんだよ。

この問題では橋下に批判的な『産経新聞』が報じたけど、「早くやらないと世論が冷める」と1月末に教育委員長に檄を飛ばしてのね。正体見たりでしょ。

浅田 橋下の論理で言えば、田中眞紀子前文科相が、レヴェルの低い大学の乱立に対する警鐘として、去年3つの大学の認可を中止しようとした、あれは正しかったってことになるからね。たしかに問題提起としてはいいんだけど、唐突な中止決定では現場を混乱させるだけ。

ちなみに、学校関係では教員の早期退職が広がって問題になってるね。昨年の11月に改正公務員退職手当法が成立して、1月末までに退職したら3月末で定年退職を迎えるよりも退職金が100万円以上多くもらえるようになった。教師は聖職なのに、そんなことで辞めるのはけしからん、なんて言ってるけど、そりゃ誰だって辞めるよ(笑)。もちろん教師だけじゃなく警察官なんかも辞めてるけど、当然でしょう。問題はそんなバカな法改正のほうであって、誰だって予測できることを予測できなかったとしたらどうかしてるね。

田中 施行を新年度の4月からにすればいいだけの話なのに(苦笑)。想像力のおかげでもないんだから。

### 土建国家、日本の復活。 青息吐息の地方は置き去り。

浅田 今日、フェルメール・センター銀座で福岡伸一館長に『あっぱれ北斎! 光の王国展』を案内してもらって、面白かつ



本当はいろいろと矛盾を  
はらんだ関係が幾重にも  
重なって社会を  
つくってるわけだから。(浅田)

たね。フェルメールはラピスラズリの青を使ったけれど、葛飾北斎はオランダから入ってきたブルシヤン・ブルー(ベロ藍)を使った、それは粒子が細かいので微妙なグラデーションを表現できる、と。浮世絵版画は複製芸術としては最も発達したもののひとつだから、リ・クリエイトという方法で複製芸術を展示するスペースとしても、北斎を取り上げる必然性があった。北斎の浮世絵は当時の物価で1枚700円ほどで売られてたって福岡館長は言ってたけど、それが今では初刷りが7000万円ほどだとか。ちなみに、春画の原本も特別に展示されて、面白かった。

#### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学大学院長。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力一記号論を超えて』はベストセラーに。

冗談にせよ、舛添要一も言ってたけど、給料もボーナスも上がらない、雇用も増えない、なのに物価だけ上がったとなれば、ウルトラ無党派層の国民は昨年の衆院選以上に今度の参院選で投票に行かなくなる。すると、組織票を持つ政党が勝つ。選挙に行かない国民はそう思っていないかもしれないけど、結果的にこうした流れを承認しているってこと。まあ、選ぶべき相手や政党がないと言われると悩ましいけど。

浅田 連合が言う昔ながらの大手企業の賃上げの話になっちゃうけど、企業の利潤を労働者の賃金に還元していかないと消費が増えないのは確か。今の日本経団連のやり方だと、企業のなかに留保された利潤が貯まるだけで、有利な運用先もないから結局それが国債購入に回ってたりする。

田中 財務省の資料では金融・保険業を除いても全産業の内部留保は270兆円に達するんだよね。

浅田 市場メカニズムってのは価格で調節するもので、お金の価格にあたるのは金利、それがゼロになってる、つまりお金がただになってるんだから、いくら量的緩和を進めたって、それだけではインフレにはならない。日銀総裁の白川方明は、強力なリーダーではないにせよ、理論と実践に通じた手堅いセントラル・バンカーではあって、それがよくわかってたのに、安倍政権に押しまくられたあげく辞任に追い込まれたのは悲惨だったね。日銀の中立性を危うくする日銀法改正を防ぐには、ああするほかなかったのかも知れないけれど。

田中 公共事業にしても、事業費の8割が中央のゼネコンに還流するダム建設に象徴される古い方程式の国土強靱化じゃ、族議員や族団体が喜ぶだけで、青息吐息の地方の経済にまで行き渡らない。

浅田 以前の自民党時代の土建国家に戻っただけね。その種の公共支出で経済が持ち直さないことは、自民党の歴代政権がやってきてよくわかってるはずなのに。

東北の被災地でも、やたらと大きな堤防をつくったり、盛り土をして土地をかさ上げしたり、そんなことよりむしろ集団移転でも考えたほうがいいところも多いんだけどな。また、かさ上げがすすむまでは家を建て直せないってことになるんで、何年も待たなければならないから、宿屋をやった人がモバイルハウスで営業を始めるとか、復興のために大変な苦勞をさせられている。

田中 人間や社会に根ざした「地頭」を持ち合わせていたら、容易に想像できることなのにね。

